

氏名	王 炳 楠
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 7 8 号
学位授与の日付	昭和39年 9 月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	<b>Epidemiological Aspects of Yaws Infection in the South Pacific Territories</b> (南太平洋地域に於ける Yaws 感染の流行疫学的研究)
論文審査委員	教授 村上 栄 教授 大平昌彦 教授 緒方正名

#### 学 位 論 文 内 容 要 旨

著者は1956年以来 WHO の医師，殊に免疫血清学者として Western Samoa, New Hebrides, British Solomon Island, Fiji Island, Gilbert 及び Ellis Islands, Cooks Island, Tonga Islands 等の南太平洋地域に流行している Yaws 対策に従事し臨床学的調査との関連の下に免疫血清学的見地から是等の地域に於ける Yaws の流行状態を検べ次の様な流行疫学的に重要な成績を得た。

- 1) 上記の地域に於て研究対象として選んだ指定区域の住民 509,656 のうち 98% に就いて 1955年～1962年に検べた結果 21.48% が Yaws の感染を受けていた。
- 2) そして最初の調査の時に治療した 225,554 人のうち active Yaws は 3,424 人即ち 1.52% でありその中 0.37% は Infectious lesion を有し，1.14% は Infectious lesion を有しなかった。治療の後 Infectious yaws は始めの 9.52% から 0.37% に nonfectious Yaws は 11.97% から 1.14% に減じた。
- 3) 臨床的に見た Yaws Prevalence と血清学的に検べたそれとは，各地域によって異なる様相を示している。
- 4) Yaws 感染は，性別上の差は見られない。而し，Active Yaws は男が女より多い。これは 15才以上の年令層に於ける男の罹患率の高いことに基因している。
- 5) 臨床学的及び免疫血清学的の両面から見ると，15才以下の子供に Hyperendemicity と Hypoendemicity に於ける Yaws 感染の大きな差異が見られる。

## 論文審査の結果の要旨

王炳楠提出の「Epidemiological Aspects of Yaws Infection in the South Pacific Territories」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は、次の通りである。

著者は、WHOの医師として南太平洋地域に流行している。Yaws 対策に従事し臨床的調査との関連の下に免疫血清学的見地から Yaws の流行状態を詳細に調べて本症の流行疫学的に重要且つ新見見を得たものである。

- 1) 上記の地域に於て研究対象として選んだ指定区域の住民 509,656のうち98%に就いて 1955～1962年に調べた結果21.48%が Yaws の感染を受けていた。
- 2) 臨床的に見た Yaws Prevalence と血清学的に調べたそれとは各地域によって異なる様相を示している。
- 3) Yaws 感染は、性別上の差は見られない。而し、Active Yaws は男が女より多い。これは15才以上の年齢層に於ける男の罹患率が高いことに基因している。
- 4) 臨床学的及び免疫血清学的両面から見ると、15才以下の子供に Hyperendemicity と Hypoendemicity に於ける Yaws 感染の大きな差異が見られる。

以上の通り本論文は新しい知見に富み、学術上有益であり、著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有すると認める。